

旧村川別荘だより

122



平成29年5月30日発行
 旧村川別荘市民ガイド事務局
 我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課
 歴史文化財担当：木村、田中、手嶋
 〒270-1166
 我孫子市我孫子 1684 番地
 TEL:04-7185-1583 (直通)
 E-mail:abk_bunka@city.abiko.chiba.jp

市民ガイド月例会が開催されました

5月1日(月)に月例会が開催されました。あっという間に5月も下旬です。新緑真っ盛りの旧村川別荘は、いつになく気持ちの良い日が続いています。

展示「大正我孫子写真館」について

今年は、大正6(1917)年に村川先生が我孫子に土地を購入されてからちょうど100年という節目を迎える年です。それを記念して、村川家所蔵の写真や市民の方から提供された我孫子市内のおよそ100年前頃の写真を4月25日より一挙に展示しています。

昔の人々がどのような場所でどのように過ごしていたのか、昔の人が見た風景には何が写っていたのか、それを読み解く展示としてぜひじっくりご覧いただければと思います。



←桜の季節の
我孫子駅前
(大正時代)

●写真を写したカメラの歴史

今の時代は当たり前のカメラ、そして写真ですが、そのルーツを紐解いてみると新しい発見があります。ここでは、少しカメラの歴史を辿ってみます

*フィルムの歴史

1850年代には銀板写真から湿板法への移行、1880年代には、乾板方への移行(ガラスからセルロイドへ)、そして1890年代になるとフィルムへの移行となりました。



*カメラ本体の歴史

銀板写真の頃は、箱型でスタジオや固定して撮影されるタイプであり、その後1856年に軽量化がされ、布製の蛇腹を用いたカメラが開発されました。1871年に写真乾板が発明されて、カメラマンは既製品を使用することが可能になり、この頃よりカメラが持ち運びできるほど小型化しました。そして、感度の向上から露出時間が短縮となり、シャッターが必要となり、1900年頃にはカメラに内蔵することが一般的となりました。

*日本でのカメラ

1839年の銀板写真の発明、その4年後にはオランダ船より長崎に日本最初の写真機材が持ち込まれています。1848年には、日本へ正式に写真が伝わったとされているが、日本人によって写された写真で今も残っている最古のものは、1857年に写された鹿児島しまづなりあきらの島津斉彬の銀板写真とされています。

そして、写真の技術を学んだ人々が各地で「写場しゃじょう」(今でいう「写真館」)を開き、肖像写真などが写されるようになりました。現在でも幕末の志士たち有名人が移されている写真は貴重な記録となっています。

1903年に、小西本店(現コニカミノルタ)からチェリー手提暗箱が日本で最初にアマチュア向けに発売されました。その後、カメラが一般的に普及したのは、昭和に入ってからと考えられています。

*撮影競技会

1931年11月3日に全関東写真連盟の第12回撮影競技会が手賀沼湖畔で行われ、結果や優秀作品は『アサヒカメラ』に掲載されました。



▲アサヒカメラ撮影会で撮影された風景
(杉村楚人冠語記念館蔵)

テーマは「近代色」、「湖畔秋色」、「屋外人物」「田園風景」でしたが、『アサヒグラフ』に連載している「湖畔吟」にはそういった風景が毎号のように描かれており、単行本としても出版されていたので、参加者自身も手賀沼の風景や我孫子の様子をよく知っていたと思われます。

この撮影競技会開催に向けて、杉村楚人冠の日記には、「関東写真大会を我孫子に開く件につき成沢氏と相談」とあり、楚人冠自身が、写真連盟の理事であり『アサヒグラフ』の後輩編集長であった成沢玲川なるさわれいせんに我孫子での開催を積極的に働きかけていることが窺えます。

楚人冠が、“カメラ”という、物を通して記録を残す、当時の貴重な道具を使って、手賀沼の景勝地としての価値を広めていこうとしていたことがわかるエピソードでもあります。この撮影競技会は、400点以上の応募があったといい、盛況のうちに終わったことがわかります。

●展示写真について

今回の展示会では、村川家のアルバム、市民のアルバム、そして市民の方から提供のありました写真など、多くの種類の写真を展示しています。



左の写真は、明治44（1911）年頃に撮影された新築の郵便局です、右側には自転車が。当時は、車と同様に、自転車も大変高価なものでした。



こちらは写真絵葉書。現在の我孫子第一小学校の様子。

校舎小等高宮硝子孫我るれ成製新

今ご紹介した写真は、展示のほんの一部にしかなませんが、100年近く前の写真を、同時期に建てられた旧村川別荘でご覧いただくことは、当時のことに思いを馳せる一つの手段だと思います。写真そのものが珍しかった時代、人々がどのように過ごしていたのか、想像することも面白いかもしれません。展示は7月2日（日）まで開催します！

ぜひ、じっくりご覧くださいね☆ (^_^)/

旧井上家住宅土壁塗り体験について

●初の体験型イベント

旧井上家住宅では、5月13日（土）に土壁塗り体験を



▲職人さんに聞きながら、いざ塗り！！

行いました。当日は雨天にも関わらず、58名のご参加をいただきました。今後も少しずつイベントを増やしていきたいと思っております！！

連絡・お知らせなど

●庭園だより

- ・季節の動植物をご紹介いただきました。

●発掘された日本列島展 2017

- ・以前、文化財展でご紹介しました白山所在の“根戸船戸遺跡 1号墳”の出土遺物が、6月3日（土）から、江戸東京博物館を皮切りに全国5会場（東京→青森→三重→愛知→長崎）で千葉県代表遺物として紹介されます。ご興味がある方は、東京にお出かけの際にはぜひご覧ください！！

▼今回寄付をいただいた古銅剣や当初のレプリカも展示します。



4月の来荘者数

平成29年4月の来荘者数は、397人でした。

(参考) 過去の来荘者数
平成28年4月 293人
平成27年4月 395人
平成26年4月 365人

次回の月例会は・・・

次回は平成29年6月1日（木）9時30分から旧村川別荘新館で行います！！

心地よい季節の先には梅雨が待っていますね…。気温差がありますが、体調には十分気を付けましょう（私は少し体調を崩しました。。。）。(*^_^*)